

コミュニティFM 放送を使った地域防災情報について

彦根市では市民への情報伝達手段のひとつとしてFM彦根の電波(78.2MHz)を活用し、市内54か所(2020年)に設置した屋外拡声スピーカーで情報を提供しています。

FM彦根ではこのスピーカーの設置工事も受注し、彦根市と連携し、受注から以降の設備維持管理を行っております。

コミュニティFMを活用した地域防災情報発信について

無線方式では親機(発信元)と子機(受信機)が必要になりますが、コミュニティFMを活用しますと親機は整備されていますので、信号発生装置の追加設備と子機(屋外スピーカー 自動起動ラジオなど)のみの整備で導入設備は安価で済みます。

また、コミュニティFMはエリア内ならどこでもだれでも簡単に受信できますので、デジタル機器のように専用機材のみ受信できないタイプではありませんので、市町外に移動していても、車で移動中でも緊急情報は簡単に受信できます。

また、専用アプリを利用することでFMラジオでの情報と同じものを放送エリア外にいても取得することができます。

緊急情報は是非ともFMラジオで

コミュニティFM方式以外では前述しましたが、専用の機材、スピーカーの届く範囲にないと情報は得られません。

万一、気象災害で避難せざるを得なくなった場合、学校や公民館に避難することがこれまでの常識でしたが、コロナ禍で一か所に集中しますと密になり、入場数にも制限を設けられてしまいます。また、プライバシー問題で指定避難所に移動しないで一家が車で高台やスーパー等の立体駐車場に移動される傾向にあります。

その場合でもラジオなら指定避難所と同じ情報をカーラジオにも提供できるので、情報難民問題も簡単に解決できます。

平時から行政や学校情報も提供してラジオから情報を得る流れを作ることで、万一の場合の情報発信もスムーズに情報を取り入れて頂けます。

高価なデジタル式設備よりもアナログ方式ではありますが、コミュニティFMを活用するメリットは大いにあります。

**コミュニティFMを活用して防災無線(行政放送)の導入をご検討の方 是非ともお声かけください
成功も失敗もお話しさせていただきます**

▼放送局 エリア指定 割込み放送用マイク



▼市内放送エリア指定ボタン



▼割込み装置



▼自動起動ラジオ



▼携帯アプリ「エフエムプラプラ」画面



▼ アプリ用臨時放送マイク設備(試験中)



▼市内公園に設置した屋外拡声スピーカー



★仕様

FM 電波受信メイン機 出力(アンプ) 240W
スピーカー レフレックスフォン 50Wx4台
FM アンテナ 2 素子

株式会社メディアトライ
ユニベックス株式会社
マスプロアンテナ

電柱はコンクリート 14m(17m)継柱